

川崎信用金庫理事長賞受賞作品

「私の夢の旅」

宮内小学校 5年 佐藤 茉央

「茉央は、いつもにこにこしていて、めんこい。」とおばあちゃんが、ほめてくれます。この時のおばあちゃんの笑顔を見るのが私は大好きです。「私の笑顔も、おばあちゃんに幸せを届けていればいいな。」と思っています。おばあちゃんの他にも私の周りには、たくさんの笑顔があります。おじいちゃんのくしゃくしゃの笑顔。お母さんの泣きながら笑う顔。お父さんの目を細くする笑顔。弟の大きな口をあけて笑う顔……。どの顔を見ても幸せな気持ちになります。きっと私は今、「笑顔探しの旅」の途中なのだと思います。まだまだ途中ですが、私の笑顔探しの旅を紹介します。

私の将来の夢は、二つあります。一つ目は、ケーキ屋さんです。おいしいケーキやお菓子を、たくさんの子どもたちに食べさせてあげたいからです。どんな顔で食べるのか、想像しただけでもワクワクしてしまいます。私と同じアレルギーがあっても、どんな子でも安心して食べられるお菓子を作ることが、私の夢です。私のお菓子作りには先生がいます。私のお母さんです。お母さんは、給食で食べられないクロワッサンなどがあると、代わりにそっくりの物を作ってくれます。その他にも、ケーキやプリン、クッキーなど。私も一緒に作ります。するとお母さんは笑顔で「おいしい。」と言ってくれます。

私の二つ目の夢は、お医者さんです。私は、医療センターで、アレルギーの負荷試験を受けています。一年生のときは、アナフィラキシーショックを起こしてしまいました。とてもつらかったのをはっきりと覚えています。でもこの時、お医者さんが優しく、手際よく処置してくれたおかげで、笑顔にもどることができました。このお医者さんのように私はなりたいです。そして、自分の気持ちを伝えられない赤ちゃんが相手でも、気持ちを感じられるようなお医者さんになって、がまんして苦しんでいる人を一人でも多く笑顔に変えていきます。

私は大切なことに気づきました。私の「笑顔探しの旅」は、私自身の笑顔探しの旅にもなっているということです。笑顔は笑顔を呼んで、笑顔を探していた私も幸せにしてくれていたのです。そしてもう一つ、大人にならなくても、今すぐできることが多いということです。例えば、身近に困っている人がいないか気を配ったり、自分にできることをみつけて行動にうつしたりすることが考えられます。赤ちゃんではなくて友達でも、気持ちを言葉にできずに落ち込んだり悩んだりしている子がいたら、気づける人になりたいです。

私は今、学校で「みどりの小道」という環境日記をつけています。この日記は、環境にいい行動をしたら記録するものです。日記をつけ始めて、たくさんを知りました。例えば、エコバックをもって買い物に出かけたり、無駄な物を買わなかったりするだけで環境にやさしくできることです。私はこの日記を通して、いろいろなことに興味をもって勉強することも、気づける人になるためには必要だと学びました。そして、この日記は、環境だけではなく、別のことに当てはめて取り組めば、感じる力を高められるのではないかと考えています。環境を、家族や友達、近所の人に置きかえて日記をつけるのです。置きかえることはこれから、もっと増やしていく予定です。これが私の今のチャレンジです。

このように、私はまだ「笑顔探しの旅」の途中です。けれども、笑顔はただ探すものではなく、自分の力で作り出せたり、感じる力を高めることで笑顔をもっとふやせたりすることを私は知っています。私の「笑顔探しの旅」は「笑顔作りの旅」でもあるのです。たくさんの笑顔に出会えるようにもっと勉強して、人と出会ってできることを増やしていきます。そして、川崎から世界中へ笑顔を広げていくのが私の夢です。

みなさんも、わたしと一緒に「笑顔作りの旅」に出発してみませんか？